

推進員等研修会に関するアンケート集計結果

全国地球温暖化防止活動推進センターより委託を受けて実施している、「兵庫県地球温暖化防止活動推進員等研修会」について、研修の効果を把握し評価するため、アンケート調査を実施した。

【アンケート内容】 参考資料編に記載

【アンケート実施期間】 平成 17 年 7 月 14 日～8 月 5 日

【アンケート送付数】 推進員 353 名、協力員 98 名
 (委嘱数は推進員 354 名、協力員 99 名であるが、推進員・協力員より各 1 名が書類等の送付を希望していないため)

【アンケート回収数】 140 (回収率 31.0%)

【集計結果】

質問 1 昨年度の研修の参加状況

全回答者のうち、昨年度の研修会(全 5 回)に 1 回でも参加した方は 99 名(全回答者中 70.7%)であった。回答者数と昨年度の研修会参加実績を表に示す。

	回答者	昨年度実績	回答率
1 回目	85	292	29.1%
2 回目	28	52	53.8%
3 回目	9	20	45.0%
4 回目	8	16	50.0%
5 回目	46	78	59.0%
不参加	41	131	31.3%

不参加者のうち、今年度からの委嘱者を除くと、回答者 34 名(26%)

質問 2 昨年度の研修の評価

表 昨年度研修会参加者による質問 2 回答内訳

上段は回答者数 下段は回答者数に占める割合	とても そう思う	そう思う	あまり そう思わない	全く そう思わない	無回答	合計
知識の向上が図れた	20 22.7%	59 67.0%	8 9.1%	1 1.1%	11	99
資料がその後役に立っている	12 13.2%	54 59.3%	23 25.3%	2 2.2%	8	99
受講した分野の関心が高まった	12 13.0%	56 60.9%	24 26.1%	0 0%	7	99
研修内容を推進活動に活かせた	11 12.1%	48 52.7%	30 33.0%	2 2.2%	8	99

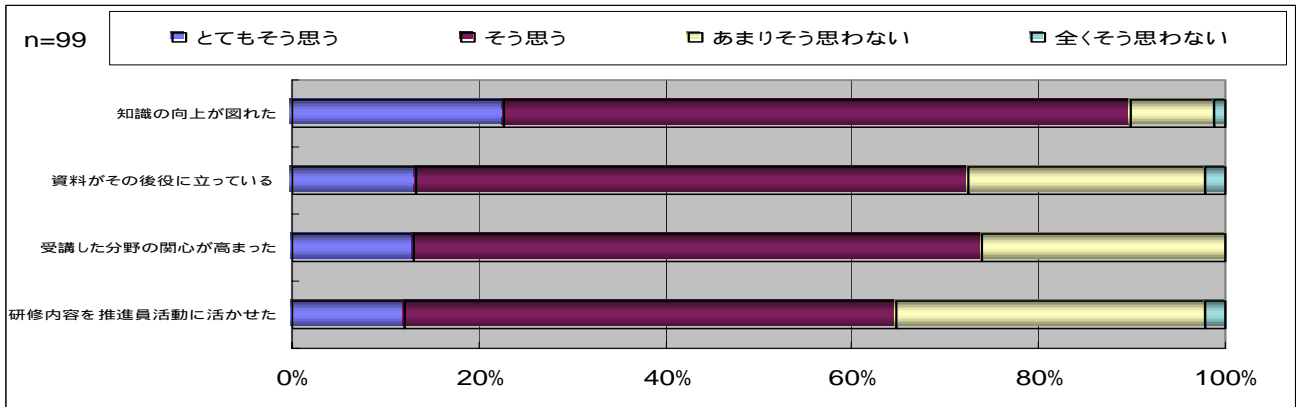
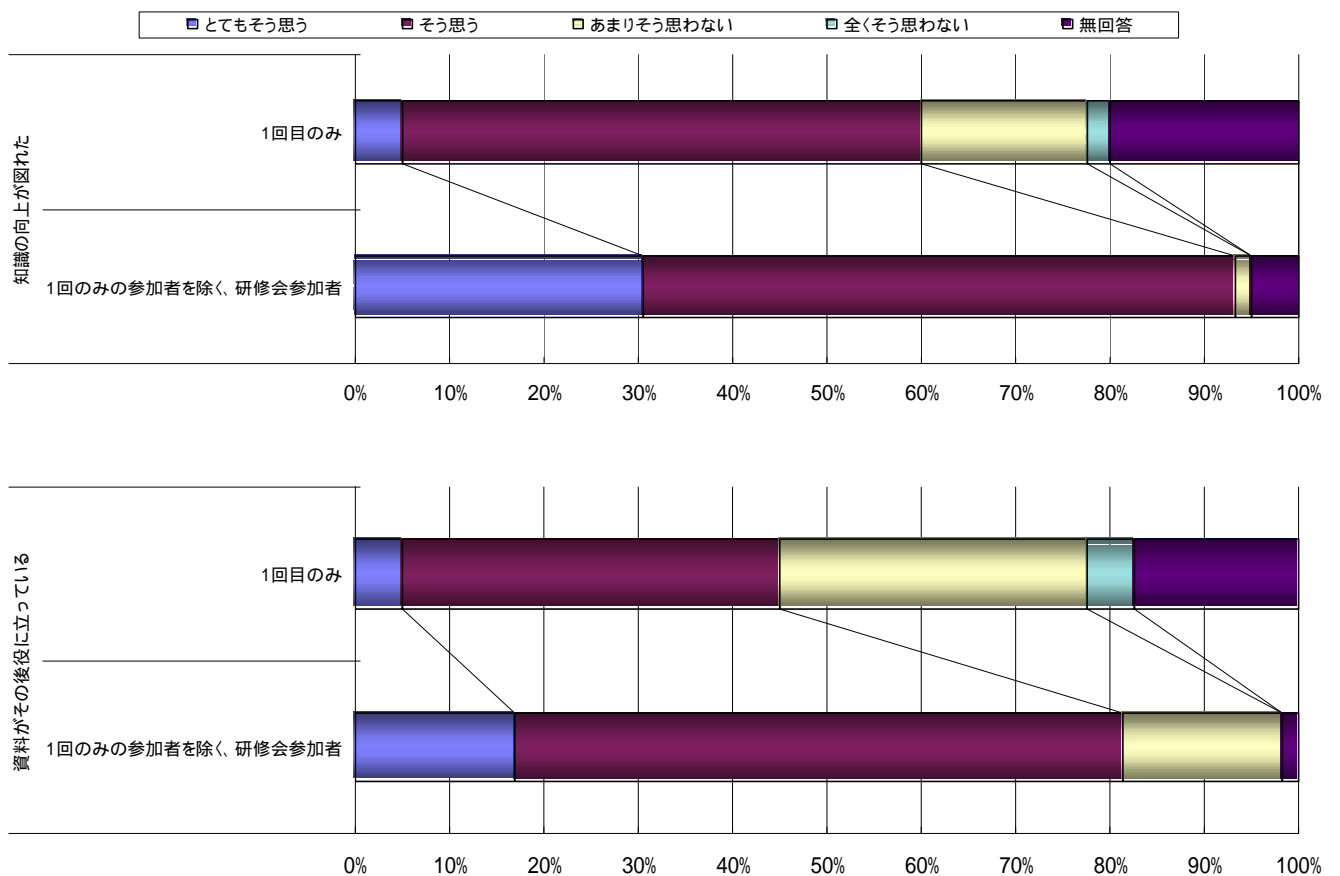


図 昨年度研修会参加者による質問2 回答内訳

いずれの設問に対しても、「とてもそう思う」または「そう思う」と答えた方の割合が高く(64.8%～89.7%)、研修会全体として高い効果を上げていることが伺える。

なお、研修会参加者のうち、講座形式で実施した第1回目の研修会のみに参加した方と、それ以外の方との評価をそれぞれ以下の図に示すと、各設問に対して「とてもそう思う」または「そう思う」と答えた方の割合が全て大きくなっている。

第2回目から第5回目の研修会については、主に参加体験型のワークショップを取り入れたため、参加者の主体的な学びの姿勢を促すこととなり、このような結果につながったと推察する。



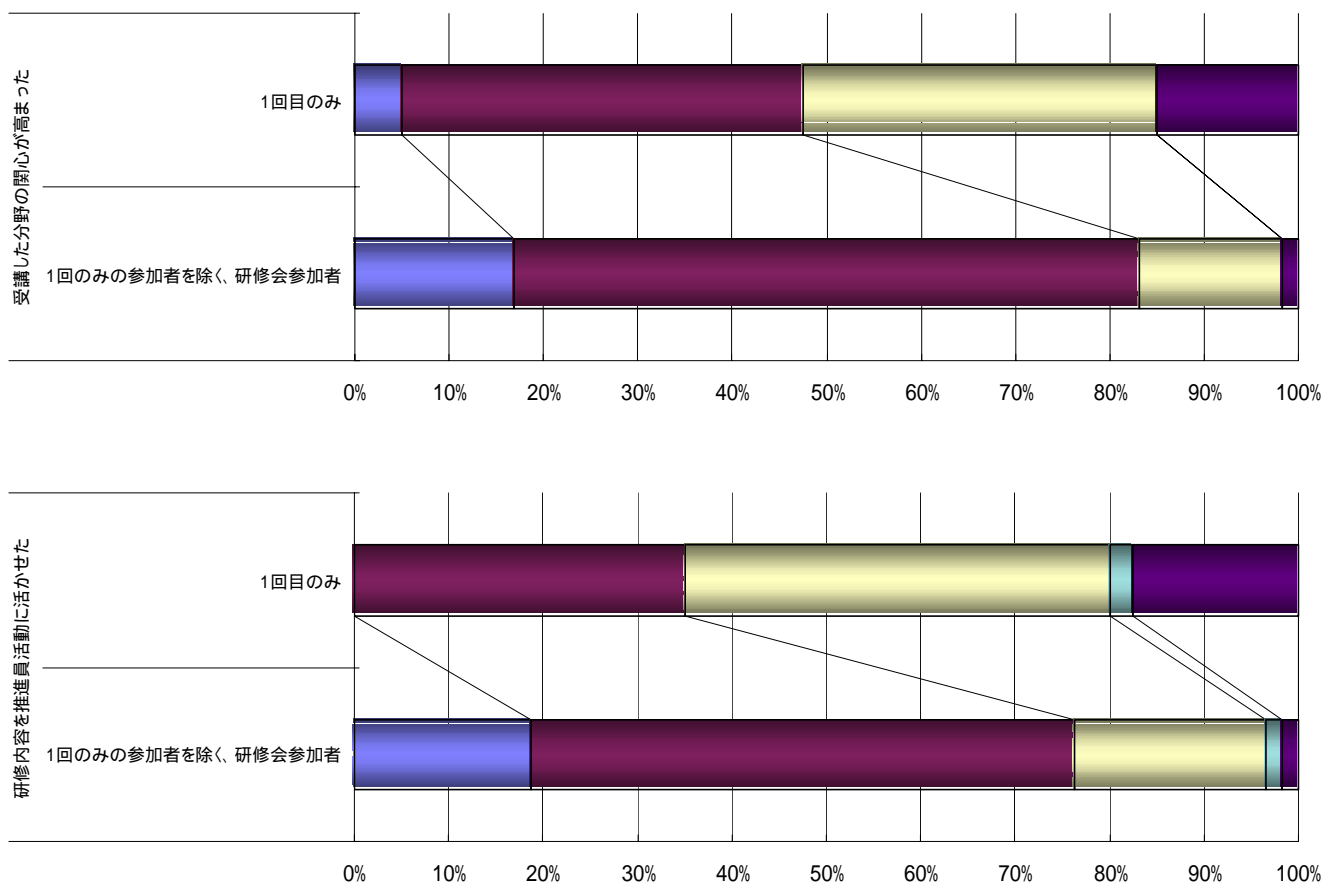


図 質問2の設問別、第1回研修会のみ参加者とそれ以外の参加者の回答内訳

また、質問 2-(4)「この研修内容を推進員・協力員としての活動に活かすことができた」に「とてもそう思う」または「そう思う」と答えた方の回答理由から、主なものを以下に上げる。

- ・地域活動を立ち上げた。(同様の回答複数)
- ・講師として地域で講義をした。(同様の回答複数)
- ・グループ活動に積極的に参加している。(同様の回答複数)
- ・「こどもエコクラブ」を立ち上げた(同様の回答複数)
- ・基礎知識が向上した。(同様の回答複数)
- ・自治体が募集する委員に参加した。
- ・皆でディスカッションすることで、より自分の意見を確かなものとする事ができた。
- ・レジ袋の討議が政策提言の動機になった。
- ・地域の仲間との交流が密になった。
- ・大学のゼミ学生にPRし、彼らの活動を支援している。
- ・最新情報として、知識の確認ができた。また、これらの事を情報源として、環境にとどまらず、全ての県民運動に生かした。

逆に、質問 2-(4)に「そう思わない」「全くそう思わない」と答えた方の回答理由の主なものは以下の通り。

- ・あまり活動をしていないので、生かす場がなかった。活動する時には役に立つと思う。(同様の回

答複数)

- ・ 啓発イベント等に参加するチャンスがほとんど無かった。(同様の回答複数)
- ・ 研修会への参加回数が少なかったため。(同様の回答複数)
- ・ 時間がとれない
- ・ 研修が知識の向上にかたよりすぎ - 第1回研修のみの参加者 -
- ・ 得た知識と活動した内容が違っていた為

質問3 研修に参加しなかった理由

全回答者のうち、昨年度の研修会に参加しなかった方は41名(全回答者中29.2%)であった。

昨年度の研修会に参加しなかった方の理由として、最も多かったのが「時間が合わなかった」である。研修会の開催日が全て平日であったことと、研修会の案内が各回の開催日の1~2か月前であり、他の予定との調整が困難であったためと思われる。

次いで多かった理由が「開催場所が遠かった」である。昨年度は全5回の研修会を県内の様々な地域で開催し、交通費も主催者から支払われることになっていたが、金銭的な負担ではなく、遠方への移動が体力的に負担を掛けることから、参加が見送られたのではないかと考える。今後の研修会もできるだけ様々な地域で開催することを検討したい。

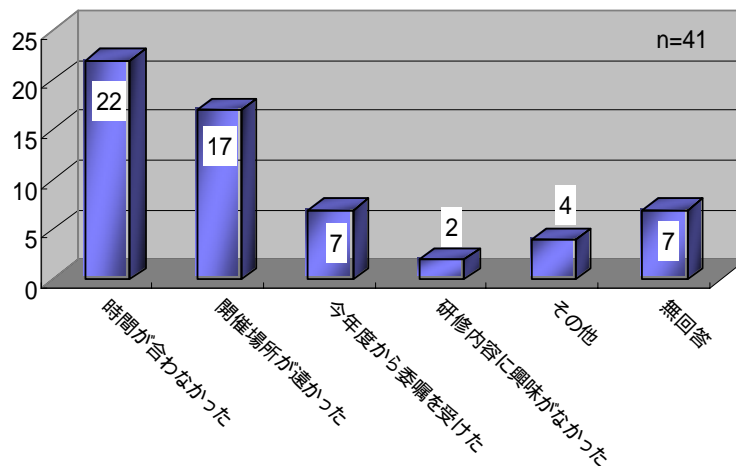


図 昨年度研修会に参加しなかった方の不参加理由(複数回答あり)

質問4- 研修会に参加することで、各地域の推進員・協力員等とのネットワークができたか

この質問に対しては、ほぼ半数が「とてもそう思う」または「そう思う」と回答した。研修会におけるワークショップなどを通じて人的交流を図ることができたが、その場限りのネットワークであった場合も多かったためと思われる。

また、研修会不参加者で「無回答」が多かった理由は、設問に問題があったためと思われる。つまり、「研修会に参加することで」という表現であることから、研修会不参加者はこの質問と関係がなくなってしまうこととなる。「研修会に参加すること等により」と、研修会以外の場合も含めることが必要であった。

ネットワークを維持するためには、ファシリテーター(促進者)の役割が必要であるが、ファシリテーションの能力を有する人材が不足しているためではないかと考える。センターにファシリテーターとしての役割を期待する意見もいくつか見られたが、地域間または地域内での交流を促進するには、それぞれの地

域に根ざした活動を推進している人材の方がふさわしいと思われる。

今後は、地域に根ざした活動を自主的に進められる人材や、ファシリテーターとしての役割を担うことのできる人材を養成する場を、研修などを通じて設定していきたい。

表 質問 4 回答内訳

上段は回答者数 下段は回答者数に占める割合	研修会参加者	研修会不参加者	合計
とてもそう思う	6 6.3%	0 0%	6 5.0%
そう思う	40 42.1%	11 44.0%	51 42.5%
あまりそう思わない	38 40.0%	12 48.0%	50 41.7%
全くそう思わない	11 11.6%	2 8%	13 10.8%
無回答	4	16	20
合計	99	41	140

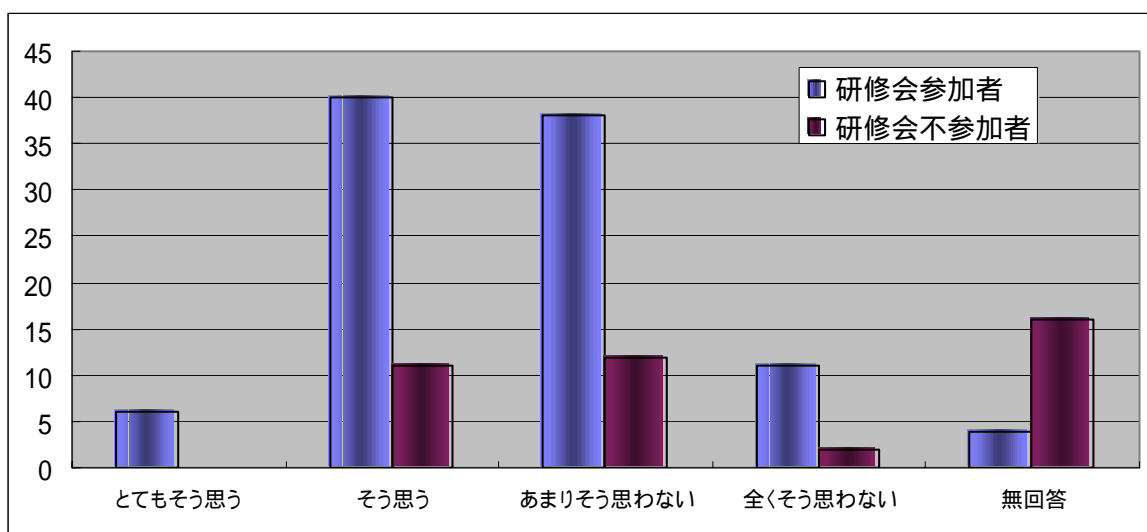


図 研修会に参加することで、各地域の推進員・協力員等とのネットワークができたか

4- で「とてもそう思う」または「そう思う」と答えた方の理由(主なもの)

- ・研修会に参加したことで、他の方の情報を得られ、情報交換できた。(同様の回答複数)
- ・省エネ活動、各種セミナーへの参加のきっかけとなった。(同様の回答複数)
- ・自己地域内でのネットワークができて推進員・協力員の連帯が強化した。(同様の回答複数)
- ・各地域の推進員・協力員の方々と生の言葉で、つながりを強く感じました。
- ・地域差はあるが、地域の問題で話し合いが出来たことが良かった。
- ・研修会とは関係なく、他の会に参加する事によりネットワークをつくっている。
- ・ネットワークまでは直接発展しないまでも、多くの人々と知り合いになった。

- ・研修会には参加出来なかったが、協会から案内のあるイベントに参加して、他の推進員との交流が出来た。
- ・地域の推進員と積極的にグループ活動に参加しています。
- ・研修会で会うと話が進むので、次からいい気持ちで会に向かえます。

4- で「あまりそう思わない」または「全くそう思わない」と答えた方の理由(主なもの)

- ・研修会では親しく会話できたが、その後、協働する活動や再開の機会が全くなかった。(同様の回答複数)
- ・交流の場が少なかった。(同様の回答複数)
- ・地域の連絡会には全く行けていないこと。
- ・他の地域のメンバーとの交流はあまり必要とは思わない。
- ・1日ではとうてい無理がある。
- ・自分が、積極的に活動できなかったから。
- ・自治体の取り組みが弱い。
- ・思いこみの強い人の団体が多く、ついていけない感じがする。
- ・「知識」入手の場だと思っているから。
- ・地域に高まり、関心が少ないため。
- ・連絡方法がはっきりしない。
- ・すでに地域でのネットワークはできている。
- ・センターの活動はマンネリ化しており、推進員の活動意欲を起こしていない。センターだけの自己満足におちいつている。 - 第1回研修会のみ参加者 -
- ・基調講演が多すぎる。又、時間がかかりすぎる。何か一つにテーマをしぼって、講演の後何班かに分かれて討議する時間を取ってはどうか。 - 第1回研修会のみ参加者 -

質問 4- 質問 4- のネットワークは役に立っているか

質問 4- に対しては、6割以上の方が「とても役に立っている」または「役に立っている」と回答している(無回答者を除くと、73.4%となる)。

今後は、新しいネットワークの構築を目指すと共に、現在あるネットワークをいかに維持し、有機的につなげていくかが課題であることが、自由記述の意見などからも伺える。

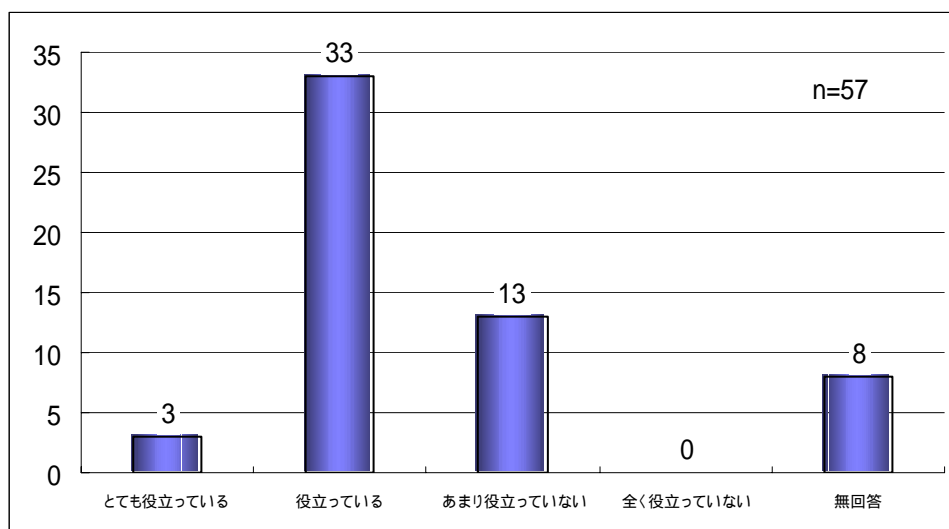


図 研修会などでできたネットワークが情報交換などに役立っているか

4- で「とても役立っている」または「役立っている」と答えた方の理由(主なもの)

- ・ 地区連絡会の中で情報交換が出来ている。(同様の回答複数)
- ・ 定期的に会合を持っている。(同様の回答複数)
- ・ ネットワークの強化、各地域の情報交換が大変に密接した。
- ・ 連絡会で計画される行事に参加させていただいた。
- ・ コープこうべの環境学習にも活用しています。
- ・ 北播連絡会で企画するイベントに、丹波と東播磨の各連絡会に共催を呼びかけた。
- ・ 大学の学生の環境問題活動の支援に役立っている。
- ・ メール交換に道が開けた。
- ・ 他の地区の活動に参加したい気持ちを持つようになった。

4- で「あまり役立っていない」または「全く役立っていない」と答えた方の理由(主なもの)

- ・ ネットワーク活用の機会があまりない。
- ・ 情報交換の機会が少ない。
- ・ 顔見知りになったが、活動展開にまで結びついていない。
- ・ 時間的余裕がない。
- ・ その後お目にかかるチャンスもなく、交流もないまま今に至っている。今のところはまだ具体的な動きにまで発展していない。やはり同じグループになり、意見交換したり同じ作業をしたりして親しくなる事の上に、次のステップがあると思う。

質問 5 今後、推進員・協力員の活動を充実させるうえで、どのような研修内容が必要か。

質問 5 への回答については、大きく 6 つに分類できる。すなわち、開催内容、開催回数、実施方法、開催日の設定、開催地の設定および参加対象の設定である。

については、「最新情報や知識の習得」、「先進地や施設の視察」、「他地域などでの実践事例(成功例・

失敗例)を聞きたい」「海外の事例を知りたい」といった意見があった。

については、昨年度のように年間数回の開催を希望する方が多いほか、同じ内容を異なる日程、場所
で実施してもらいたいとの意見がある。

については、「体験学習を重視して欲しい」、「グループワークを多く」、「自由な時間を多く設定するこ
とで推進員同士の情報交換を促進する」といった意見のほか、「県や市町など、自治体の職員にも参加して
もらいたい」との意見をいただいている。

については、「土日の開催を希望する」という意見が多く見られた。昨年度は全て平日に開催したため、
平日に仕事をもつ推進員や協力員の参加が難しかったためであり、今年度はできる限り土日や祝日を利用
した研修会の日程設定を行いたい。

また、宿泊型研修が好評であり、今年度も宿泊型研修の開催を希望する声があった。宿泊型研修は、よ
り深い交流が可能となるためであろうと考える。

については、昨年度と同様、各地域での開催を希望する声が多かったが、特に回答者の地元での開催
が希望されており、年間5回という開催計画では、全ての方が納得する地域での開催は難しいと思われる。
今年度は、昨年度実施していない地域で主に開催したい。

については、推進員・協力員だけではなく、学生の参加や、先にも述べた自治体職員の参加を希望す
る意見が見られた。ほかに、推進員の家族などが参加する機会が欲しいとの声もあったが、これについて
は「グリーンエネルギーメッセ」などの屋外型イベントなどに参加していただく方が良いのではないかと
思われる。

以上 から のほかに、「現状のままで良い」といった意見や、逆に「研修にお金をかけず、実践活動に
予算を付けてもらいたい」といった意見も見られた。

全国センターからの委託は「推進員等を対象とした研修」に対して予算が付いているため、地域での実
践活動に直接予算を割くことはできないが、研修会の一環として実践活動を行うことは可能と思われるた
め、先進的な活動をしている地域に、他の地域の推進員が見学や体験の為に協力するといった方法での研
修のあり方も考えられる。

質問5 に対する、その他の回答

- ・一般県民への啓発活動を推進員・協力員に委ねているように思う。もっと市町の行政が防止活動
計画を作成推進するように指導(指示)し、その活動の中で、推進員が協力していく体制を取れば、
もっと運動が盛り上がると思われる。そうすることにより、推進員として何を勉強しておかなけ
ればならないかが見えてくる。
- ・今の活動ではCO2 排出量は減るはずがない。早く気づいて欲しい。推進員がそっぽを向いてい
るのが現状です。反省してください。
- ・(研修中に)あまり意味のない質問を聞いているのは不快。
- ・県・市との連携プログラムがほしい。